

	<h1>ほほえみだより</h1> <p>笑顔いっぱい 生き生き 今日も来てよかった治田東の子ども</p>	栗東市立治田東小学校
		第5号
		令和5年7月20日

この夏、事故や事件に巻き込まれないために…

ようやく夏らしい日差しが、雲の隙間から顔を出すようになりました。10年ぶりに近畿地方の梅雨入りは5月となり、それ以来2か月近い間、じめじめとした日々を過ごしました。全国各地では線状降水帯の頻発もあって大きな災害をもたらし、滋賀県でも大雨や雷に心配する日もありました。そして、待ちに待った梅雨明けと共に、子どもたちは夏休みを迎えます。

41日間の長期休業は、子どもたちの思いと裏腹に大人にとっては心配の多い日々となります。子どもたちを取り巻く環境には、危険がたくさんあります。報道等で知る事故や事件は、ある日突然発生し、一瞬で命や健康を奪い去ります。しかし、そんな悲しい事故や事件に巻き込まれないようにと、私たち大人が子どもたちを自分の目の届くところに留めていては、子どもたちが本当の危機に遭遇したとき、自分を守ることができません。ここに大人のジレンマがあります。大切なことは、危険に近づけないと同時に、いざという時のために「自分の命を守る術」を教えることだと思います。

そこで本校では、6月には5年生が「情報モラル」、4年生は「非行防止」について草津警察署や栗東市少年センターの方から話を聞きました。そして、7月6日のさわやか集会では、生徒指導担当から放送とスライド資料を使って「子ども110番通報訓練」「不審者対応」について話がありました。さらには、文部科学省が推進する「生命（いのち）の安全教育」についても、学年に応じて学ぶ機会を設けました。

しかし、この学びがお子様の実際の生活の中での危険予知や危険回避の行動に結びつくためには、もう少しご家族のサポートが必要です。「夏休みをむかえるにあたって」のプリントを参考にしながら、お子様の個性と行動習慣に合わせた言葉かけをしていただきたいと思います。

9月に元気な子どもたちに会えることを心から願っています。



<p>わかばっこ のささやき※</p>	<p>「そうじスター」の取組は、時間中に黙々と丁寧に掃除をしている子を見かけると、見かけた先生が「廊下の掃除をしている〇年〇組の人たちが、静かに端までワイパー拭きをしていてすばらしいです。」などとPHSを使って校内放送で知らせます。他にも、熱心な様子を見かけるとメモして担任へ知らせる方法もあります。「がんばってるよ」「見ていて」など、掃除をがんばる姿があちこちで見られてうれしく思いました。「認められる」ことがパワーになることを実感した取組でした。</p>
	

※このコーナーは、日常生活の中での子どもたちの様子から感じたことをささやくコーナーです。